

とっとり・グローバルウォッチ

第98号 2015年1月15日発行

ロシアレポート 18 コンテストで経済発展?

沿海地方の経済発展政策のひとつとして、農業や産業などをサポートする仕組みの導入が検討されている。

■「沿海地方で製造した食品」

ウラジオストクの地元企業が、国際的に通用する商品の製造を促進するひとつの方法として、ミクルシェフスキー沿海地方知事は、地元の安全で良質な食品に対し「沿海地方で製造した食品」というブランドを設定する考えを発表した。

このブランド認定にあたっては、遺伝子組換え原料や農薬を使用していないといった基準が設けられている。専門家によって審査され、認定された良質な食品は、無料でブランドマークが使える。



「沿海地方で製造した食品」ブランドマーク

■Best product of the year

また、毎年年末には「沿海地方の今年の一番いい製品」(Best product of the year) コンテストが行なわれている。受賞したメーカーは、全国レベルの「ロシアの一番いい製品100」というコンテストに参加でき、メーカーは受賞した証としてコンテストのマークを2年間使用できる。このマークは、消費者にとって購買時の判断材料のひとつとなる。このコンテストは、年々参加者が増えており、2014年は82の製品が受賞した。

受賞企業の一部を紹介する(企業名・受賞製品)。Primorskii konditer・

チョコレートなどのお菓子、VladHleb・パン、Pcholka・蜂蜜、など。

「Primorskii konditer」は、沿海地方だけではなく、ロシア全土で人気のチョコレートメーカーである。ウラジオストクに観光やビジネスで訪れた多くの人が、お土産としてこのメーカーの商品を購入している。「Vladhleb」は、パンだけではなく、ケーキやクッキーも人気のあるメーカーだ。



「Best product of the year」のマーク

■コンテスト参加によって得られるもの

他にも、沿海地方とハバロフスク地方では、商工会議所が主催する「2014年のブランド」コンテストが行われる。

参加者は食品のメーカーだけでなく、マスコミや建築会社など多業種にわたり、今年は57社が参加した。審査は、専門家が品質の調査を、市民はインターネットアンケートを通じて行う。

現在、地域限定のコンテストなので、今後ロシア全土のメーカーを対象にしたいと考えている。

各メーカーがこのようなコンテストに参加すると、インターネットや新聞などに掲載されるため、良い宣伝になる。また市民もアンケートなどで意見を出すことが可能なので、結果として製品やサービスの向上につながると考えられている。

目次:

ロシアレポート～ 18	1
最新の上海 ～現地レポート～ 82	2
アンニョンハセヨ KOREALレポート 32	3
現地発! 台湾月刊レポート 91	4～5
東南アジアビューロー レポート 13	6～7

最新上海 ～現地レポート～ 82

中国の日系メーカーも要注意！ ～汚染物質の排出に関する法改正～

■はじめに

鳥取県の皆様、新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、中国では年末から2月の旧正月にかけて消費旺盛な時期なので、上海でも様々な場所でセールやイベントが開催されている。昨年12月には、上海高島屋で中国・四国地方の物産展が開催され、大山のミネラルウォーターが販売されていた。豊かな自然がはぐくんだ貴重な資源は、ここ上海では2Lペットボトルで24.4元（約488円）もする高級な水である。

ここ数年中国では、PM2.5をはじめとする大気汚染が大変問題となり、周辺国はもちろんのこと、欧米からも非難的となっている。

■大気汚染に伴う法整備の状況

上海においては、一昨年から昨年初めの冬場は、青空が見える日などほとんどなかった。ところが、昨年秋からスモッグの発生状況にも顕著な改善が見られるようになった。なぜかというところ、「上海市大気污染防治条例」が改正され、昨年10月1日から実施されたからだ。

そして更に、「環境保護法」が改正され、1月1日から実施されている。今回の改正により、環境保護のため、行政・企業・一般市民それぞれの責任が明確化され、違法な汚染物質排出企業に対する厳罰化が示された。中国に製造拠点をもち企業はもちろんだが、中国に委託加工業者がある企業についても、今回の改正内容を把握しておいた方がよい。

■「環境保護法」の改正ポイント

（第44条）重点汚染物質排出総量規制

国務院により決定された特殊汚染物質の排出総量規制目標値は、地方政府を通じて企業に対しても割り当てられる。なお、目標値を超える場合、地方政府レベルで新規プロジェクトに対する審査・許可が一時停止される。

（第45条）汚染物質排出許可管理制度

「汚染物質排出許可証」の取得が義務付けられ、同許可証の要求に従った排出のみ許可される。

（第47条）環境汚染公共危機の事前警報体制

企業が突発的な事故発生時における応急対策措置を制定した上で、環境主管部門への届出が必要。事故発

生時には同措置に従い対応しなければならない。その際には、住民への通知と環境主管部門への報告が必要となる。

（第55条）汚染物質排出許可管理制度

汚染物質名称・排出方法・排出濃度・排出総量・排出状況と基準超過状況・汚染防止及び改善のための施設とその稼働状況などを開示しなければならない。

（第56条）環境アセスメント報告書の作成と意見聴取の必要性

環境アセスメント報告書を主管部門に提出した後、主管部門は、国家機密と商業機密に関する事項を除いて、その全文を公開した上で、社会からの意見聴取が必須。意見聴取不備が判明した場合、その責任は企業が負う。

（第58条）公益訴訟制度

従来、一般市民が環境汚染を発見した場合、行政に苦情や通報することにとどまっていたが、改定法により、民事訴訟により環境汚染行為停止と損害賠償請求が可能に。

（第6章）環境主管部門による強制執行

改定法では、環境主管部門により、違法な環境汚染も対する生産制限や停止命令が可能となった上、汚染に関連する設備や施設の差し押さえなどの強制執行を可能とする職権を環境主管部門に付与。また、事故責任者を公安局によって最長15日間の身柄拘束をさせる可能性もあり。さらに、汚染物質排出に伴う過料命令に従わない者に対しては、支払日までの日割り計算で過料算出される可能性あり。

■その他の注意事項

上述のとおり、上海では深刻化する大気汚染を改善するべく環境保護法の実施に先駆けて、汚染物質の排出規制が実施された。そして、この改正条例に違反した上海郊外の木材関連企業が10万元（当時のレートで約160万円）の罰金を科されるなど、上海においては法整備にとどまらず、実務上の監督管理面での強化も見られる。すでに実施されている環境保護法の影響で、上海の環境保護主管部門による製造企業に対する更なる監督強化につながる可能性があり、企業においては、法令順守徹底に向けた具体的な対策が必要である。

アンニョンハセヨ KOREAレポート 32

ウェブトゥーンの影響力

最近、韓国で人気を得たドラマ「未生」はウェブトゥーン（Webtoon）から生まれた。多様なメディアの源泉として浮上しているウェブトゥーンの影響を見てみる。

■ウェブトゥーンの成長

ウェブトゥーンに基づいて製作されたテレビドラマ「未生」は韓国で大きな人気を集めた。このドラマは契約社員である新入社員を主人公としてサラリーマン社会を描いており、視聴者から多くの共感を得た。



（ドラマ「未生」の公式ホームページより）

ウェブトゥーンとは、ウェブ（Web）とカートゥーン（Cartoon）を合成した言葉として、インターネットで連載される漫画を意味する。スマートフォン時代を迎え、いつでも、どこでもアクセスできる手軽さから読者の基盤を築き上げ、その人気は爆発的に増加した。KT経済経営研究所によると、韓国におけるウェブトゥーンの市場規模は、2010年529億ウォンから2013年1500億ウォンまで拡大し、いままも成長傾向にある。

ウェブトゥーンは既存の漫画と違ってオンライン上にあるため、紙面の制約がない。インターネットを通

じて配信されるウェブトゥーンは、バックグラウンドミュージックなどを追加できる長所があり、人々が熱中するもの頷ける。また、ウェブトゥーン上では、誰でも作家になれるため、漫画市場へ進入する際の障壁が低い。そのため、既存の漫画では見られなかった新しい試みをする作家が生まれ、それに対し興味をもつ読者も増えた。出版社を経ず、直接読者と繋がるため、読者からのコメント（フィードバック）をリアルタイムに確認できるところも、ウェブトゥーンが人気を博した要因の一つである。

■ウェブトゥーンを活用した新しい事業の推進

ウェブトゥーンは、他のメディアの源泉としても活用される。インターネット人気漫画家ガン・プルの「純情漫画」を始め、「黒く濁る村」や「隠密に偉大に」などウェブトゥーンが原作の映画が人気を集めた。

また最近では海外でも注目され、世界中の漫画が多様な言語に翻訳され、ウェブ上にアップロードされている。そこでも、韓国のものが上位にランクしている。

このような点に着目して、韓国のポータル・サイトであるネイバーは「ラインウェブトゥーン」サービスを立上げ、ウェブトゥーンを多様な言語に翻訳するサービスを提供している。それ以外にも、ゲームや広告、キャラクター商品等の市場にも広がり、ウェブトゥーンは新しい産業の原動力としてその役割を拡大させている。

【安進会計法人 キム・ミョンギョ】

現地発！台湾月刊レポート 91

2014年の台湾を振り返る

2014年、台湾の代表漢字は「黒」、「黒」に揺れた年であった。

しかし、景気はそれほど悪くない。年末選挙で政治も変わった。この中でどう明るい光を差し込ませるのが、2015年の台湾の課題である。

2014年の台湾を代表する漢字が決定した。「黒」である。第二位は、「餿（食品等が傷んでいることを意味する）」。以下、油、怒、食、假など、全てマイナスイメージの漢字が選ばれた。ちなみに日本の漢字は「税」。2008年以来、日本をまねて開始した活動だが、台湾ではどちらかというとマイナスイメージの印象が強い漢字が選ばれている。

2014年は、食品の安全が脅かされる事件が相次いだ。世間を覆ったのは、「黒心油」、「黒心企業」、「黒心政客」。「黒心」とは、日本語で言う「ブラック」と思ってよい。「黒心油」とは「下水油」とも表される。私を含め台湾に住んでいる人間はもちろんのこと、訪れた観光客も全て口にしたのは間違いのないほどの、ブラック大企業による偽装油混入製造であった。漢字「黒」の選者によるコメントは、以下のとおり。

「台湾は、昨年2013年にも黒心油事件が発生した。しかし、まさか今年も同様の問題が発生するとは思わなかった。これらブラック企業は、台湾の食品安全問題を脅かし、台湾美食王国に黒い影を落とさせた」張台湾大学病院医院長。

「高雄ガス爆発事故からはじまり、台湾には、ブラック商人、ブラック政治家が蔓延した年となった。台湾人はこれらを直視し、この暗闇から明るい未来を見つけ出さないといけない」楊 前衛生所長。

「下水油、飼料油等の黒心油が、全台湾に流れていたこと、これは、台湾国内の食品安全問題に赤信号を灯した。金儲けのために、国民の健康を顧みず、民衆を苦しめ、皆を驚かしたこと。これは、まさに

黒そのものであろう」向陽詩人。

これらを覆すように、若者が政治に対して立ち上がり「太陽花運動(ひまわり運動)」が花開いたことは、特筆すべきことだろう。日本の国会にあたる台湾立法委員を占拠し、台湾のさらなる民主化をもとめ、また大陸と一線を画すべきだとの主張は、香港へ流れが受け継がれた。

台湾の主要市長・県知事選挙においては、現在、野党である民主党が大勝した。台湾人の現政権批判、民族主義と経済格差が広がっていることを表すものであり、どうにかしたいという心が表出したものだ。地方統一選挙で、新しく選出された民進党系の柯台北市長（東京都知事にあたる）は、実行力と素朴さで人気があり、どのような舵取りをするのか、手腕が注目される。

経済を俯瞰すると、台湾株式市場は、夏場に相当上げたが秋に入り調整し、年末比で10%上げた。ちなみにニューヨークダウは7.5%の上げである。不動産市場は、下げトレンドに入った模様。台湾ドルと米ドルに関しては、台湾ドルが安くなっている。台湾は資源国ではないので、逆石油ショックはあまり影響がない。むしろ原油が安くなり、大陸・米国向けの輸出入も好況。ちなみに台湾からの輸出第一位は大陸(26%)、続いて香港(13%)、米国(11%)。日本は第五位。輸入は、大陸(17%)、日本(15%)、米国(10%)となっている。

日本円については、何度も書いたことだが、台湾ドル高円安で、台湾人観光客が怒涛の如く日本を訪れている。円安は、日本からの輸出にとってチャンスである。また円安にもかかわらず、日本から台湾への進出・出店ラッシュが止まらない。「くら寿司」も私の家のそばに第一号店ができたが、連日満席である。台湾の黒一色になった市場に、日本の安全・安心の光を差し込みたいものである。

東南アジアビューロー レポート 13

タンブン(お布施)について

タイは信仰心の厚い仏教国である。上座仏教徒が国民の95%を占めており、その他はイスラム教4%、キリスト教、他にヒンドゥー教、シーク教、道教など。上座仏教は、日本や中国に伝わる大乘仏教とは考え方もやや異なる。この教義の違いからか、タイ人は熱心に祈る。上座仏教の考え方だと、熱心に祈らないと救われないのだ。タイのタンブン（お布施）について述べてみたい。

早朝のタイでは、托鉢（ピンダバーダ）している比丘（びく・僧）や沙弥（しゃみ・見習い僧）に、小袋に分けた食べ物を差し上げている人々を見かける。比丘や沙弥はしっかりと黄衣をまとい、その人の顔を見ることなく、施物を受け取っていく。

この比丘や沙弥に布施をすることは、タンブンのひとつで、タンブンの「タン」の意味は「なす、行う、する」で、「ブン」は「福・善・福徳、功德」である。すなわち、「タンブン」とは、「福徳をなす、善を行う、功德を積む（こと）」という意味になる。



仏教では、自らが作った業（カルマ、行為の余力）によって、苦である地獄・餓鬼・畜生・修羅（阿修羅）・人・天の六つの世界（六道、六趣）の中で、生死を繰り返していると教えており、今、私たちがいるのが人界となっている。六道の中で、地獄が一番苦の多い世界で、順番に苦が少なくなり楽が多くなる。天界が一番楽の多い世界だ。しかし、天界にも苦があり、修行者たちは、その苦の六道から解脱しようと修行する。また、「善いことをすれば善い結果としての報い（善果・楽）があり、悪いことをすれば悪い結果として報い（悪果・苦）がある」との教えから、輪廻転生を信じているタイ人は、タンブンをすればするほど、来世では幸せに生まれ変われると信じているのだ。

私たちが手軽に行えるタンブンは、街中でよく見かける托鉢へのお布施である。托鉢の時刻やスタイルについては、地方によって多少の違いがあるが、僧侶たちに差し上げるものは以下の10種類に分類される。

- ① 食物
- ② 水などの飲み物
- ③ 衣服の布
- ④ 運賃を含む移動への援助
- ⑤ 花輪や花
- ⑥ 線香や蠟燭
- ⑦ 石鹸等の身体を清潔にする衛生用品
- ⑧ 修行者に必要な寝具
- ⑨ 住まいに必要なもの
- ⑩ 蠟燭、ランプ、電灯などの照明用具

その他のタンブンとしては、「寺への寄付、出家、五戒遵守」などがあげられる。

次頁へ続く…



次にタイのお寺での簡単なお参りの仕方を説明しておく。

まず、服装だが、タンクトップやハーフパンツなど露出が多い服装は男女ともに避けるべきである（長袖・長ズボンがベター）。お寺に着いたら、入口で「花・蠟燭・線香と金箔のセット」を購入する。場所にもよるが、金額は20バーツから高いものまで様々ある。大きなお寺の場合、本堂に入る前にお参り用の場所があり、そこに蠟燭立てと線香立てがあるので、まずは蠟燭に火をつけて、蠟燭立てへ向かう。その火で線香に火をつけ、ひざまずく。仏像の方に足の裏を向けてはいけないので、横座りか正座をしなければならない。そして、花と線香を持ちながら両手を合わせてお祈りするのだ。

お参りが済んだら、線香は線香立てに、花は花置き場にお供えする。手にした金箔は、仏像に直接貼付ける。金箔は貼る位置によって、ご利益が違うようだ。

腹：仕事でのポジションアップ、豊かさ向上
 臍：一生困らないだけの豊かな資産に恵まれる
 頭：記憶力・精神面の強さ・問題解決力をアップし、人生における障害切り抜ける
 胸：魅力アップ
 手：大きな権力を手にする
 足：交通安全等、事故にあわない

お参りにおけるどのステップでも同様だが、近くにいるタイ人を見ながら見様見真似でやってみると簡単なので、タイに旅行に来られた際は、お寺をお参りし、ぜひご利益を得ていただきたいと思う。



【鳥取県東南アジアビューロー 川南】

**本誌は、皆様から内容のご提案や掲載されている
 情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。**

**公益財団法人 鳥取県産業振興機構
 とっとり国際ビジネスセンター**

住所 境港市竹内団地255-3

Tel 0859-30-3161

Fax 0859-30-3162

Email kaigai@toriton.or.jp

URL <http://www.tottori-kaigai.com/>